広報
座光寺
2014
12
No.31

座光寺風景

柿すだれ

今年も市田柿の季節がやってきました。生産者の方々は陽あたりが良くなるよう工夫しながら丹精込めて仕上げていきます。今年は豊作のようです、全国へ向けて良い品物が届けられる事を期待します。

渋谷区縁の環交流事業

パノラマファーム大門　代田　勝

りんご狩りの部

心配していた天気も良く、予定時刻にバスが到着し、降りてこられた方々は、「空気が美味しく風が気持ち良い。」「なんと景色の良い所なの。」と口々に言われていました。

早速、パノラマファームのシナノスイートのりんご園へと案内し、りんごのもぎ取り方の説明をスタッフから受け、りんご狩りのスタートです。木に実っているりんごを初めて見る方も多く、自ら収穫し丸かじりすると「りんごってこんなにも瑞々しく美味しかったの。」と大変喜んで頂けました。お土産のりんごを袋に入れて「また来年も来ます。」と言われながら次のそば打体験の会場へと出発しました。

そば打ち体験受入れの部

今年で2年目となったそば打ち体験受入は、パノラマファーム大門のメンバーを講師として23名にそば打ちを経験してもらうというもの。約1ヶ月前から練習を重ねた5名に加え、試食会のための準備要員の協力で、スケジュールどおりに進むと共に、渋谷の方々に喜んでいただけた事で、正直、ホッとしている。

後日参加者アンケートにて、りんご狩りとそば打ち体験に対して、参加者の7割以上の方から大満足の回答をいただき、うのみにさせていただき、良かったと思っている。活動の成果の一環でもあるこの機会を今後も充実させたい。

（船田征孝）

● 人のうごき　世帯数／1,577戸　人口／4,566人　男／2,233人　女／2,333人（平成26年11月末現在）

平成26年度防災訓練 つなごう防災意識

自主防災連絡協議会　北原　三三

平成26年度の座光寺地域の防災訓練は8月31日に実施されました。防災訓練にあたり、事前協議事項として地域災害対策本部の見直しを行いました。その背景には、飯田市防災計画の職員参集体制が見直されたことにあります。従来ですと、ここ座光寺には地元や北部地域在中の職員が地域災害対策本部の一躍を担い、心強い支援体制が構築され私達もつい当てにしてきたのも事実でありました。しかし、業務継続性の観点から市職員の参集場所が「各職場」へ変更となることで、地域で自立した組織体制の強化がより必要となりました。

このことにより、地域では本部機能の迅速かつ無駄のない体制整備として、本部参集自治委員を「情報班」として配置。消防団、日赤奉仕団の指令機能も「本部参集員」として配置することで機能の強化を図りました。

また、区災害対策本部の見直しとして「副連絡長の新設」。本部との連絡機能強化として各区災害対策本部に「防災連携シート」を配布し周知の徹底を行いました。無線通信においては消防団ＯＢの方々の支援を頂くことにより円滑な連絡連携の確保ができました。

当番区の1区では、特に即席で対応できる担架訓練を実施して頂き、大いに参考になったかと思われます。

実施訓練におきましては、①安否確認率が69・8％②全体訓練参加人数207人という結果でした。一時避難所訓練としては、各地区から訓練計画を提出して頂き其々実のある訓練が出来たものと思います。

反省・課題としては、安否確認数と住民数に乖離がある。高齢者世帯の避難方法の検討。安否確認に於いて組合未加入の方々の確認が難しい。組合未加入者の訓練への参加が無い等がありました。それらを踏まえ次年度への取り組みとして、①防災世帯台帳の整備（今年度中）②一時避難所開設者の明示③避難施設の機能分担等を提案し次年度へ諮って行きたいと思います。最後に、昨今のゲリラ的集中豪雨が多発する中、座光寺地域としても例外ではありません。この実施訓練を重ねることにより、より自主的な取り組みが大切になってくるのではないでしょうか。

担架による救助訓練の様子

ごみの不法投棄をゼロに

環境衛生委員会　環境副部長　上沼　道弘

環境衛生委員会では、春と秋の年2回のごみゼロ運動にあわせて地区内の不法投棄パトロールと回収活動を行なっています。主なパトロール場所は県道の牛牧境、山の神公園、唐洞線、阿島橋付近などです。不法投棄されている物は、ペットボトル、空き缶、弁当の空箱、雑誌等から中には自転車、マットレス、布団、タイヤ等があり、モラルを疑うものです。

『山の中だから良い』、『人が見ていなければ良い』、『誰だか分からなければ良い』、『ゴミ処理にお金がかかる』などの理由で不法投棄をするのであればその人の人間性を疑うものです。

なかなか地区内から不法投棄が無くなることはないと思いますが、地区民、ひとりひとりの心がけで座光寺地区から不法投棄を無くし、座光寺地区の美化と環境を良くする様にしましょう。

ごみは分別をしっかりして集荷日に出す様にして下さい。

『ごみの不法投棄は犯罪です』

大小様々な不法投棄物

渋谷区竹垣設置について

総務文教部　櫛原　文夫

11月13、14日の2日間にかけて、3年目になりますが、渋谷区道玄坂の竹垣設置に竹宵の会11名、自治委員、センター所長5人で、行ってきました。

渋谷のハチ公前公園を初年度に行い、3年目を迎える訳ですが、商店街の皆様から暖かい労いの言葉や、「シルバーボランティア」ですかとの声も頂き、又今年は通りすがりの北欧の外人の参加があり、片言の日本語と片言の英語で交流も出来ました。

年明けの、1月9日より10日間東京ドームで、「日本の食の祭典があり」、9月に行われた全国丼コンテストで選抜された、地元のアルプスサーモン丼が出展され関係者も参加されます。

其のついでで、東京に寄ったら是非、竹垣をはじめ座光寺と交流している道玄坂商店街と、大きく変貌しつつある渋谷駅周辺を見てきて下さい。

竹垣設置に興味を示す通行人も（渋谷・道玄坂）

しぶや2014フェスティバルに参加しました

アクティブ座光寺
代表　棚田　健治

去る、11月2、3日の二日間、「第37回渋谷区くみんの広場　ふるさと渋谷フェスティバル」が渋谷区代々木公園で開催され、飯田市を代表してアクティブ座光寺と下久堅柿野沢地区の皆さんと参加してきました。このイベントは、渋谷区民のほか、渋谷区と交流のある各国大使館や自治体も参加し、舞台や特産物の販売などをおこない、大勢の人で盛り上がります。また、東日本大震災の復興支援のため、岩手県・宮城県・福島県からも、伝統芸能の披露や物産販売、観光PRを行うものです。

日本全国から数多くのブースが出店する中、アクティブ座光寺のブースでは、鮎の塩焼き・五平餅・おやきの販売を行いました。また、座光寺の魅力を伝えるパンフレットも同時に配り、PRを行いました。

アクティブ座光寺のメンバーによる手作りの炉端焼きテーブルを持参し、実際に炭火で焼く、「見せる売り方」をした鮎の塩焼きは、行列ができるほどの人気で、多くの人が焼き方を珍しがり、携帯電話やスマートフォンで撮影をしていました。五平餅やおやきも、懐かしがったり珍しがったりと、とても評判がよく、両日とも大好評のうちに完売しました。お客さんの中には、毎年このイベントを楽しみに来ている方も多く、お年寄りから若者、外国人の方などで賑わっていました。

また、座光寺のリンゴを無料配布する企画には、順番を待つ人たちが、公園を1周する位の長蛇の列ができる程の人気でした。

今年で37回目を迎えるイベントですが、アクティブ座光寺としては今回が初めての参加で、様子が分からなく、不安を抱えて準備等を進めていましたが、大勢のお客さんに来ていただき、喜んでいただけたと思います。今後においても、このような座光寺と都市部との交流の場に積極的に参加し、地域の魅力をアピールできればと思います。

リニア中央新幹線建設に係る事業説明会開催される

リニア中央新幹線（品川・名古屋間）が10月17日に国交大臣より、工事実施計画の許可を受けました。それに伴う地元説明会が、11月26日(水)公民館、11月27日(木)公民館、11月28日(金)中河原集会所にて行なわれ、JR東海長野工事事務所担当者から説明がありました。

特に三日目の中河原集会所では100名を超える住民が集まり関心の高さと思いを持っての参加となった。

Q　補償について、騒音、日照権等についての「等」とは何か。

A　太陽光発電についての保障のこと。現在まだ国の基準はないため、早急に検討したい。

Q　唐沢の土曽川非常口から出る発生土の運搬経路はどうなっているか。

A　唐沢線を下に降りると飯田線の下をくぐるには大変狭くなっているため、上に登って幹線道路であるフルーツラインで経路を策定したい。

Q　鉄道施設ができたことで風の通りが悪くなり、果樹などに「霜害」が予想されるが、補償はあるのか。

A　基本的には日陰などの実害のある場合に補償の対象となるので、現時点では補償対象にはならない。しかし、実際に収穫量に実害が出てくれば今後検討させていただきたい。

Q　リニアの高架下の用地買収でできる俗にいう「ヘタ地」はどのような対応になるのか。

A　基本的には事業用地しか取得しません。残った土地については「取得しない」が原則です。ただ残った土地の今後の使い勝手を考えて、土地の使用に関して「損失が出る」という事になりますので「損失の補償」をします。詳しくは地権者と個別の話し合いで説明します。

Q　経営、営業についてダメージを受けた場合の補償は。

A　今のところ考えていない。

Q　通過に生じる騒音はどのくらいか。

A　約77デシベルです。掃除機の音が70くらいなのでそれより若干大きい程度です。

Q　天竜川橋梁の上は防音防災フードが付かないようだが、ぜひここも付けてほしい。

A　今のところは防音壁の予定で、その前後については（どこまで防音壁でどこまでフードなのかは）これから県の方で基準を決め、それに基づき県と飯田市と協議しながら決めていきたい。

Q　保守基地が稼働する時の騒音はどれくらいか。

A　保守車両はディーゼル車で、タイヤで走行するためダンプ車が1台通過するくらいの音になる…また稼働は夜間行う。実際の保守車両はこれから製造されるため、はっきりとした答えはできないが、騒音には配慮していきたい。

Q　工事期間中の安全対策は。

A　橋梁工事がメインと考える。各所に誘導員を配置したり、通学時間帯を考慮したり、車両にはステッカー添付等で意識をして進めていきたい。

●紙面の都合上すべてを掲載できていませんん、ご了承下さい。

（広報部）

特殊詐欺非常事態宣言

～依然減らない特殊詐欺～

上郷飯沼交番署長　島立強志

座光寺地域の皆様には、日頃から上郷飯沼交番の活動に対し、各方面においてご理解、ご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

秋口から建物に侵入する窃盗事件が多発しておりますので、施錠の徹底等警戒をお願い致します。

本年10月末時点の特殊詐欺被害状況は、長野県下で154件、8億7221万円であり、過去最悪であった昨年の195件、10億8881万円に迫る状況です。

一方、飯田警察署管内は、14件、6384万円であり昨年1年間の10件、6095万円をすでに上回っております。

平成26年10月末時点、飯田署管内特殊詐欺被害の内訳

○オレオレ詐欺　2件
○架空請求詐欺　2件
身に覚えのないハガキ等
○還付金詐欺　2件
「過払い分を返還します」
○金融商品詐欺　4件
パンフレットを送り付け、投資話を持ちかけ、「名義だけでも貸してほしい」等
○ギャンブル詐欺　2件
ロト6の当選番号を教える
○異性を紹介する詐欺　1件
○その他　1件

当交番管内では、市役所の職員を騙り「過払いの医療費を返還した」「今日が最終日なので早急にATMに操作してほしい」と申し向け、逆に振り込ませようとする事案がありました。

幸いATMの周りのお客さんが詐欺を疑い警察に通報して下さり、入金する前に警察官が話を聞いて被害を防ぐことができました。

対策～電話対策～
犯人からの電話に出ないのが一番！

①留守番電話設定
声で電話の相手を確認でき不要なセールスも防げます。

②ナンバーディスプレイ設定
相手の電話番号を確認してから電話に出られます。

③非通知電話拒否設定
犯人の多くは非通知で電話をかけてきます。

④特殊詐欺対策用機器
電話の相手に、会話を録音する旨の警告音が流れ、会話内容が録音できる機器です。（ホームセンターで購入可）

特殊詐欺は、家族や地域の絆で防げます。

合い言葉を決めたり、実家の電話対策をしてみる事がとても大切でしょう!!

敬老祝賀会開催

毎年恒例行事となっている75歳以上の皆様をご招待し来賓をお迎えして、敬老祝賀会を10月19日に行いました。

今年は、87名の皆様に参加していただき、高齢者を敬う小中学生の感謝の気持をこめた作文の朗読・歌・演奏を拝聴し一緒に歌っている光景を見ると、とても心なごむものがありました。

祝宴においては、余興の最初に子ども麻績太鼓の演奏、その後大正琴演奏あり、歌唱あり尺八演奏あり、詩吟あり、ハーモニカ演奏と数々の催しものがあり最後の極め付きが、伊駒流竹扇会による新日本舞踊の舞でした。

お捻りの飛び交う中盛大に、無事終了しました。

子供科学教室

子供科学教室を終えて

健全育成部　浜田　佳夫

11月22日(土)に、おもしろ科学工房の皆様にご指導いただき、子供科学教室が行われました。

今年のサイエンスショーは、「静電気の不思議な世界を学ぼう」身近な物を題材に子供達が実験、体験を通じて不思議な世界を堪能出来ました。終了後は、「モデルロケット」「ビニール袋凧」の制作を行いました。講師の話を聞き、物作りをする子供達の眼差しは、自作品完成へと真剣そのもの。完成品を手に、場所を小学校校庭に移動……。

この日は天候も良く、ビニール凧を持ち、満面な笑顔で走り続ける子供達。ロケット発射の為、大きな声でカウントダウン。子供達の夢や希望を乗せたロケットは、真っ青な空に白い煙をはきながら、空高く打ち上がりました。

これからの座光寺を支えていく子供達にとって、今回の実験、体験が今後の成長に少しでも活かして頂ければと思います。

楽しかった子供科学教室

座光寺小5年　北澤さくら

私は今回、「子供科学教室」に参加させてもらいました。

私は「ロケット」を教えてもらって作りました。大変だったけど、とてもきれいにできました。学校の校庭でうち上げた時「少しもったいないなぁ」と思いました。でも、すごく高く飛んで、とてもうれしかったです。

他にも「せいでんき」の実験もしました。水がせいでんきをおこす事が分かりました。うちでもやってみたいです。

また他の機会があったら参加したいです。

星空観察会

健全育成部　三村真由美

9月6日(土)の夜、星空観察会を開催しました。

新企画の事業でしたが、当日はあいにく開催時刻から大降りの雨となり、講師の奥村茂実先生から、皆既月食、宇宙ステーションや、広大な宇宙のお話をお聞きしました。

リベンジの声が上がり、12月6日(土)に計画しましたが、大勢の申込みにもかかわらず、今度は雪にたたられリベンジならず涙をのみました。

座光寺の素晴らしい星空を、今度こそ見たいと願う子供さん達の思いを叶える為、次のリベンジにハートを注ぎ、計画していきます。是非次回も、大勢の皆さんの参加をお持ちしています。

神戸市真陽地区に「自主防災」を学ぶ

公民館長　塩澤哲夫

「災害は夜中に起きる」と近頃よく言われる。この夏の広島の災害もあの利尻島の災害もそうだった。そして、白馬も。

平成7年1月、M7・3の兵庫県南部地震が発生した。この阪神・淡路大震災で、「行方不明者なし」を次の日にまっ先に言い切った神戸市真陽地区。なぜそんなに早く言い切れたのか、どんな住民協力があったのか、日頃何をしてきたのか、等を飯田市三穂地区とのつながりの中で教えてもらった。

真陽地区では、「避難困難者には、民生委員が支援に当たる」としていた。が、民生委員だけでは何かあった時に負担が大きすぎるという思いから、区長さんを中心に防災組織を立ち上げて、自力では避難が困難な方をどうやって避難させるか支援するかを相談していた。「だれが、だれを避難させる」と決めていた。避難させる実働の主力は消防団員となった。神戸の下町と呼ばれている真陽地区は、お店が軒を連ねている。その店主の皆さんも支援の重要なメンバーとなった。

今、真陽地区では、津波に対する防災計画を策定中とのこと。海抜3・8mの地域ならではのこと。震災当時「地震と火事は考えた。が、津波に対しては全くの無警戒だった」の反省からだと。「いつ何時起こるか分からないけれど、備えておくことが絶対に必要だ」とも。自身の体験に裏付けされた言葉には説得力がある。

白馬の地震では、死亡者0。どこで就寝しているかまで知っているお隣さんが救出にあたったと。〝その時「だれが、なにを、どういう順番で、どういう分担で」対応するのか。日頃から心構えして、準備して、訓練することが大事だ〟と。視察を通して改めて考えた。

南信州 歴史とくだものの里 座光寺

http://zakoji.jp/　座光寺ホームページへ　アクセスしましたか

以前より、ふるさと応援倶楽部をはじめ多くの方々が歴史・文化の宝庫、豊かなくだものの里、座光寺を地域外に発信したいとの思いがありました。

自治会では、昨年自治会ホームページ作業部会を立ち上げ、事業着手、9月吉日に開設にこぎ付けました。

関係者のお力により、また県の元気づくり支援金の補助を受け、開設できましたことは、心余る慶びであります。

これを受け、地域の様々な出来事や活動を随時、情報アップロードし地域へそして全国へ発信していきます。

皆様の情報の提供と、応援をお願いいたします。

（総務文教部　湯澤義彦）

トップページ

このプルダウンメニューから知りたい項目を選びます。

この他にも盛りだくさんの情報があります。ぜひチェックしてみて下さい。広報座光寺、おしらせ版もバックナンバーでそろっています。

クラブサークル紹介

火の用心

座光寺少年少女消防クラブ

幹事長　加藤　隆司

「座光寺少年少女消防クラブ」は、座光寺小学校児童を対象として平成26年に結成しました。一年生から6年生までの男女合わせて20名がクラブ員として活躍しています。

小学生を対象とした少年消防クラブはこれまで、飯田市では鼎少年消防クラブの一団体だけでありましたが、その鼎少年消防クラブの志と活動に賛同し、今年度よりの結成に至りました。活動内容としまして、3月に結成式を飯田広域消防本部にて行い、その後に消防署見学をさせていただきました。普段では見ることの出来ない通信室の見学や、消防車の説明などを受けることができ、大変勉強になりました。子供たちだけでなく一緒に参加した大人の方からも好評でありました。

6月には放水体験を、消防団の操法大会の日に合わせて行いました。子供用のヘルメット、防火衣を装備したクラブ員一人一人が放水を体験しました。また消防団予防救護班によるAEDの取扱いを学びました。火災予防期間中の11月には、消防団の機関にクラブ員が乗り、機関についているマイクを使用して、地域内の火災予防を呼びかけました。別の週には、座光寺交通少年団と共に高齢者宅へ交通安全や防火防犯意識を呼びかける家庭訪問を行い、地域の方より大変感激されました。

今後の活動としましては消防出初式の市中パレードに参加予定です。「座光寺少年少女消防クラブ」のこのような活動が地域全体の防災意識向上につながること、地域永年無火災を願い、今後も活動していきます。

スタートのきっかけは！

切り絵同好会子供教室

林　公恵

小学校クラブ活動の切り絵の外部講師として、3年前から学校の方におじゃまして、高学年の希望者に切り絵の指導をしてきました。

クラブの時間内では十分な事ができず残念な面もありましたが、生徒さん達は出来上がった作品を喜んでくれており、その様子を見ているともう少し時間があったらと思わせられました。そんな時に学校外でも切り絵をやりたいと言ってくれる生徒さんがおり、それならということで教室が始まりました。

始めて約1年、5年生の女子4人と指導者2人という小さい教室、月2回比較的時間のある水曜日の放課後1時間半ワイワイガヤガヤとやっています。私たちは指導者とはいっても、趣味の公民館活動で切り絵をやっている同好会の仲間です。先生と呼ばれてちょっと気恥ずかしい気分でおりましたが、生徒さん達から「切り絵の先生のしかく書」なるものをいただき、さらに指導の責任を感じています。あくまでも趣味ですが、教えている以上はきちんとした作品を作ってもらいたいという気持ちで生徒さん達に接しています。人に物事を教える難しさを感じながらの孫と爺婆の様な年齢差の「切り絵同好会子供教室」、楽しみながらの中にも礼儀ありの教室を目指して、とりあえずは今来てくれている生徒さん達に今後も切り絵を続けたいと思ってもらえるようにと感じています。

ワンバウンドふらば～るバレーボールサークル

SLT代表　正木　利幸

ボールが大きくて柔らかい、だから手や腕が全く痛くないスポーツ。…ボールは両手で抱えないと持てないほど大きいです。突き指や捻挫など怪我の心配もありません。

コートも狭く激しく動き廻ることはないので、中高年からでも始められるスポーツ。…仲間のほとんどはバレーボール初心者の40歳代です。女性も約半数います。ボールは不可思議な方向に動くので、笑いと共に身体を動かせるスポーツ。…ボールはいびつな卵形なので、思った通りに動いてくれません。それが面白いんです。

「ワンバウンドの練習に来ているときは、毎日のストレスを忘れて素の自分を出せる。こんな機会はなかなかありません。」

「このスポーツは40代の自分にはちょうど良い、仕事で疲れているけど、これなら毎週続けられて楽しい。」

「ローテーションをして守備や攻撃を代わるから全員が主役になれて楽しい。」

と、ワンバウンドバレーの魅力に取り憑かれた仲間は楽しく語ります。

11月2日には第7回目となる飯田市の交流会があり、36チームが参加して大いに盛り上がりました。うちのチームも4年連続で参加し、今年は、初めてブロック別で優勝しました。40代、しかもバレー初心者チームの優勝です。

皆さんも、ワンバウンドふらば～るバレーをして爽快な汗を流してみませんか？　毎回、参加者には松おじさんが美味しい飴玉をくれます。興味のある方は是非お電話か、直接体育館へお越しください。

練習日：毎週日曜18時～
場　所：座光寺小学校体育館
会　費：毎月200円
連絡先：正木利幸（清水）
☎24・5766

◎クラブ活動等の紹介を随時募集します。希望される方は公民館広報部までお寄せ下さい。

「地域の歴史にふれる」シリーズ⑰

国指定史跡・恒川官衙遺跡(3)

今回は文字・文献史料に現れる伊那郡について

①伊那郡の初出と郷名　※■は読めない部分を示します

「伊那」の地名の初出は、藤原宮SD170出土木簡の「科野国伊奈評■(鹿ヵ)大贄」であり、7世紀末には「科野国伊奈評」と表記されていたことが判明している。また東大寺正倉院宝物の麻布袋に「■（信？）濃国伊那郡小村■(郷？)交易布一段　天平十八年十月」と書かれており、和同6年の好字制により、「伊那」へ郡名が改められたと考えられます。

②伊那郡の大領は誰だったのか？

「読日本紀」の天平神護元年（765）正月7日条であり、正六位金刺舎人八麻呂が外従五位下勲六等になると記載されています。

「類聚三代格」には、神護景雲二年（678）正月二十八日に「信濃国牧主当伊那郡大領外従五位下勲六等金刺舎人八麿」が現れる、この史料により伊那郡大領が金刺舎人八麿（麻呂）であり、信濃国牧主当を兼ねていたことが判明しています。

③定額寺

「日本三代実録」貞観八年（866）二月二日の記事に「信濃国伊奈郡寂光寺」が定額寺になると記載されています。

現在の座光寺の地名はこの寂光寺に由来すると考えられています。

金井原瓦窯跡や古代寺院推定地である古瀬平遺跡の所在から寂光寺が恒川遺跡群に近接して存在する可能性は高く今後の調査に期待するものです。

④伊那郡の郷とは

「和名類聚抄」（高野山本）によると「伴野」・「小村」・「麻続」「福地」の４郷であった。

⑤東山道の要所に位置する重要な郡衙であった

伊那郡衙は、「東山道」東国の出入り口である神坂峠足下に位置しており、馬匹管理や交通路に関連する実務などに加え、畿内・東国諸国間の物流を管理したことも考えられます。東山道という内陸交通の要衝にあって、通常の郡衙にみられない機能を備えた東国支配の拠点となる郡衙であり、古代日本史上重要な役割を担ったことを示す貴重な文化遺産である。

（イメージ図）

「延喜式」に東山道駅家に「阿智」・「育良」・「賢錐」・「宮田」が記載されています。

伝馬は「伊那郡十疋」と記載されており他の郡の倍である。

（調査資料・写真等他・飯田市教育委員会より提供いただいています。）座光寺史学会　片桐直夫

編集後記

趣味のカメラで座光寺周辺や飯田市内の風景、祭りなどを撮っています。

私は、座光寺の写真クラブに所属しており、様々な場所へ撮影に行きます。

また、作品は地区文化祭に発表展示させていただいています。共通の趣味を通じ、世代を越えた仲間と楽しく活動しています。

来年の４月には元善光寺も御開帳です。本堂に繋がる石階段も新しくなり、お参りに訪れる観光客を待っているみたいでした。

写真は、新しくなった元善光寺の石階段です。来年には大勢の参拝客が訪れ、大変賑わうことでしょう。

（広報Ｉ）

広報座光寺　発行／座光寺地域自治会　編集／公民館委員会広報部　印刷／龍共印刷株式会社

この広報誌は、再生紙を使用しています。

VEGETABLE OIL INK